

## 平成 29 年度第 3 回東浦町地域公共交通会議 会議録

会議名	平成 29 年度第 3 回東浦町地域公共交通会議
開催日時	平成 30 年 3 月 19 日（月）午前 9 時 30 分から午前 11 時 00 分まで
開催場所	東浦町役場本庁舎 3 階 合同委員会室
出席者・欠席者	別添「平成 29 年度第 3 回東浦町地域公共交通会議委員名簿」のとおり
議題	（1）東浦町地域公共交通網形成計画の変更について【協議】 （2）平成 30 年度東浦町地域公共交通会議事業計画（案）及び平成 30 年度東浦町地域公共交通会議予算（案）について【協議】
その他	・「う・ら・ら」タクシーについて ・委員の委嘱について ・平成 30 年度第 1 回東浦町地域公共交通会議の開催予定について
傍聴者の数	3 人

### 審 議 内 容

◆防災交通課長

定刻となったため、会議を開催する。

◇会長

今回は議題が 2 つある。皆様の意見、ご協力をお願いする。

◆防災交通課長

本日の出席委員は、委員名簿のとおり、28 名中 25 名で、定足数の過半数以上に達しているため、東浦町地域公共交通会議設置要綱第 6 条第 2 項により、本会議が成立したこと及び同条第 4 項により、会議は公開とし、本日の傍聴者は 3 名であることを報告する。

また、本日の会議の内容については、町のホームページで後日公開することを併せて報告する。

◆防災交通課長

それでは引き続き議事に入らせていただく。

◇会長

次第に従い議事を進める。議題 1 東浦町地域公共交通網形成計画の変更について、事務局から説明を求める。

<b>議題 1 東浦町地域公共交通網形成計画の変更について・・・資料 1</b>
--

◆事務局 A

資料に沿って説明をする。

こちらは、前回の会議にて話が出たものであるが、網形成計画の中にあるプロセス目標の「タクシーの利用台数の増加」における、現状値と平成 32 年度の目標値を変更するものである。変更理由としては、長寿医療研究センターでのタクシー乗車について、事務局としては集計対象外と考えていたが、一部のタクシー事業者が集計対象と考え集計していたため、集計対象の考えを整理し、集計し直す必要があったからである。事務局としては、

長寿医療研究センターは大府市土地と考え、集計対象外としたいと考えている。理由としては、「う・ら・ら」バスの長寿医療研究センターのバス停は大府市土地として整理していること、また、例えば長寿医療研究センターからタクシーに乗り大府駅まで行った方を東浦町利用として集計するのはおかしいと考えるからである。そして、そうした考えのもと集計し直したところ、現状値（H27実績）としては、27,488台 → 25,050台、平成32年度の目標値としては、現状値の20%増としていることから、33,000台 → 30,000台となるため、資料のとおり変更したいと考えている。また、この会議で承認後、国の方にも変更手続きをしていきたいと考えている。なお、参考となるが、前回の会議の時にH28年度の実績値も提示させていただいたが、H28実績値としては、27,414台 → 26,470台となり、変更後の数値としては、H27実績は25,050台、H28実績は26,470台となり、1,420台の増となったことを合わせて報告させていただく。

◇会長

説明を受け、委員の意見を聴取する。

◇副会長

実績値を見ると、長寿医療研究センターでのタクシー乗車が減っているということになるが、減の理由は分かっているか？また、タクシーの目標値を達成していくため、どういったことをやっていくのか考えはあるか？

◆事務局A

タクシー事業者からは、長寿医療研究センターの建替え工事の関係でタクシーの乗り場環境が悪くなったことが原因ではないかと報告を受けている。また、今後については、運転免許自主返納支援事業の中でタクシー助成を実施しているため、その周知を図っていくことやタクシー事業者の協力も得て、乗り場環境の改善等をしていければと考えている。

◇副会長

免許返納のことだけで、そこまで増えたとは考えにくい。なぜ増えたのかということも調査し、今後どうしていくのかということも議論していく必要があるが、そういった議論する場はあるのか？

◆事務局A

議論する場は、この公共交通会議と考えているため、タクシー事業者にも協力をいただき、議論していきたいと考えている。

◆委員A

長寿医療研究センターの工事が終わり、タクシーの常駐が増えているため、今後については、多少タクシーの供給の面で改善があると思う。

◆委員B

現在、タクシー業界では、運転手不足が深刻であり、利便性の高い配車がなかなかできなくて申し訳ない。

◆委員C

現在のタクシー台数の集計方法としては、東浦町内で乗車した台数となっているが、大府市や刈谷市から東浦町内に帰ってくる人も多い。そういった方も集計に入れた方がよいのではないか？

◆事務局A

集計を東浦町内で乗車のみとしている理由としては、タクシー事業者が、手作業で集計

するのが非常に大変であるため、乗車のみにしてほしいと提案があったからである。事務局としても可能であれば、発着の双方の集計をできればと考えているが、それにはタクシー事業者の協力が必要不可欠であるため、タクシー事業者と相談させていただきたい。

◆委員A

タクシー業界は今まで、運転手の売上しか見てこず、細かな記録の集計をしてこなかった。最近、自動集計できるシステムを導入する事業者も増えてきたが、現在のところシステムを導入している事業者は少ない。導入を強制することもできないため、手作業を依頼しているのが現状であり、なかなか難しいところである。

◇副会長

そもそもそういった集計がないと今後、こういった対策をすべきかが議論できない。タクシー事業者には厳しいお願いかもしれないが、集計するのが当たり前になるように、頑張してほしい。

◆委員C

タクシー呼ぶのに電話ではなくスマホアプリを利用する人も多い。しかし、スマホアプリで予約しようとしてもうまく予約できないことが多い。そういったことも対処していただきたい。

◆委員A

最近、愛知県内では共通タクシー配車アプリができたが、主に流しタクシーを想定しているアプリであるため、自分の近くにタクシーがいないと配車できませんとアプリで表示されてしまう。また、駅前など、タクシーが常駐している場所では、アプリで予約できないようになっている。理由としては、タクシー乗り場で待っている人がいるにも関わらず、近くでアプリ利用者がタクシー乗車をするとトラブルや苦情になるからである。そういったトラブル対策もあり、多少利用しづらい面があることは了承していただきたい。

◇会長

その他なければ、採決を取らせていただく。

◆全委員

異議なし。

**議題2 平成30年度東浦町地域公共交通会議事業計画（案）及び平成30年度東浦町地域公共交通会議予算（案）について【協議】・・・資料2**

◆事務局A

資料に沿って説明する。

まず、平成30年度東浦町地域公共交通会議予算（案）について説明をさせていただく。歳入・歳出予算は2,785,000円となっており、前年比プラス2,251,000円としている。歳入の主なものとしては、町からの負担金となっている。歳出の主なものとしては、委員への報償金や会議用のお茶代の他、今年度は運行計画策定支援業務委託料として、2,191,000円を計上している。これは、H31年度のダイヤ改正にむけた支援事業を名古屋大学に委託したいと考えているものである。

次に、平成30年度東浦町地域公共交通会議事業計画（案）について説明をさせていただくが、その前に東浦町地域公共交通網形成計画事業の実施状況について簡単に説明させていただきため、裏面資料を見ていただきたい。網形成計画事業の抜粋と実施状況の有無

について記載させていただいている。バスロケや「う・ら・ら」タクシーの実施、バスギャラリーや乗り方教室の実施など、事務局としては概ね計画どおり実施できていると考えている。そして、現在、実施できていないものについて、今後実施していく必要があるということになる。表面に戻り、事業計画（案）について説明をさせていただく。

平成 30 年度においては、地域公共交通会議は 4 回開催予定としており、第 1 回を 5 月下旬、第 2 回を 9 月中旬、第 3 回を 12 月上旬、第 4 回を 3 月下旬に予定しているが、場合によっては、会議の回数を増やす可能性もあるので、その点は了承をしていただきたい。主な議題としては平成 31 年度ダイヤ改正内容やさまざまな実績・評価などを予定している。

次に「う・ら・ら」の広報・PR 関係と有料広告については、概ね例年どおりである。平成 30 年度もハロウィンバスやクリスマスバス、乗り方教室などを実施させていただく。なお、夏休み時期には、児童に「う・ら・ら」を乗ってもらえるよう、児童向けの企画乗車券を導入できればと考えている。

最後に、H31 年度ダイヤ改正関係についてだが、簡単な内容やスケジュールを記載させていただいている。講演会や住民アンケート調査、OD 調査、グループインタビューを予定している。具体的な内容については、今後名古屋大学の加藤先生と決めていきたいと考えている。また、各地区のグループインタビューについては、各連絡所長に人集めを依頼させていただくと思うので、その時はよろしくお願いしたい。

#### ◇会長

説明を受け、委員の意見を聴取する。

#### ◆委員 D

「う・ら・ら」の時刻表についてだが、JR の発着時間等も載せていただけるとありがたいかどうか？利便性が増し、若者などの利用も増えると思う。

#### ◆事務局 B

JR のダイヤも毎年改正がある。JR の改正の度に「う・ら・ら」の時刻表を印刷し直すことはできないため、なかなか難しい。町が今年度導入したナビタイムなどの公共交通検索サービス等を利用していただけると幸いである。

#### ◆委員 E

31 年度のダイヤ改正関係についてだが、裏面の網形成計画事業でいうとどこの事業にあたるのか？

#### ◆事務局 A

事業としては、「1-2 乗り継ぎに配慮した便利な路線及びダイヤの設定」、「2-1 公共交通に対する意識啓発」、「3-1 町運行バス「う・ら・ら」の経路見直し」があたると考えている。

#### ◆委員 E

住民アンケート調査についてだが、対象の範囲や規模はどのように考えているか？

#### ◆事務局 A

現在のところ詳細には決まっていないが、前回の網形成計画を策定したときに実施した調査を参考にしたいと考えている。その時は無作為で 12 歳以上の 1,000 名を対象にしている。

#### ◆委員 E

網形成計画のP44に「町運行バス「う・ら・ら」の経路見直し」というものがあり、東が丘団地線などの記載があるが、現在の方向性等があれば、聞きたい。

◆防災交通課長

今のところは具体的なことは決まっていないが、網形成計画に沿って進めていきたいと考えている。

◆委員F

「う・ら・ら」の東ヶ丘線の通学利用者に対する乗りこぼし対策を実施していただいているが、根本的な解決とはなっていない。次回のダイヤ改正時にはそういったことも解決できるよう頑張っていたきたい。

◆防災交通課長

町としても課題として認識しているため、しっかりと取り組んでいきたいと考えている。

◇副会長

ダイヤ改正については、現在、網形成計画に記載のあることをダイヤに落とし込んでいくことになるが、町としてどの程度、お金をかけられるかということによって大きく変わってくる。1台増車できればこんなダイヤができる、2台増車できればこんなダイヤもできるということになるので、そういったことは私の方で提示したいと思う。また、運賃の見直しについても考える必要があるが、「う・ら・ら」は増額、路線バスは減額するとよいのではないかと考えている。ただし、お金もかかってくるし、議論することも多いので、実現可能かどうかは分からないが、そういったことも含めて調査したいと考えている。

◆委員G

最近、有松インターの近くのコンビニをバス待機場として利用しているのを見たが、町も利用してはどうか？

◇副会長

そこは、コンビニの隣の土地にバス待機場があるだけなので、コンビニ利用のものではない。全国的にはコンビニ利用を試してみた例はいくつもあるが、ほとんどうまくいっていない。理由は、舗装強化費用が多額にかかるとともに、バス利用者はコンビニでお金をあまり落とさないため、コンビニ側が嫌がるためである。

◇会長

ダイヤの改正については、利用状況の変化に注意しつつ、さまざまな状況を斟酌しながら、決定していきたいと考えている。

◇会長

その他なければ、採決を取らせていただく。

◆全委員

異議なし。

その他

◇会長

その他で何かあるか？

◆事務局A

3点報告をさせていただく。1点目としては、今年度から実施している乗りこぼし対策

である「う・ら・ら」タクシーについて、来年度も実施予定であることを報告させていただく。2点目としては、現在の委員の委嘱期間が平成29年度末で満了となるが、再任をお願いする方には新年度に入ってから、委嘱手続き等をさせていただくので、よろしく願いしたい。3点目については、次回の公共交通会議の開催予定についてだが、5月の下旬ごろを予定している。正式に決定し次第、また連絡させていただく。

◇会長

本日の議事日程をすべて終了した旨を告げ、閉会を宣告する。